

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校麻生工科 自動車大学校	平成20年3月31日	野見山 秀樹	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-8-28 (電話) 092-433-0634				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人麻生塾	昭和26年3月12日	麻生 健	〒820-0018 飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999				
目的	3DCADエンジニア、設計開発エンジニア、FA制御エンジニア、組込みエンジニアとして、いずれにも対応できるカリキュラムで、発想力が強く、物事に柔軟に対応できる人材を育成する。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	自動車工学・機械設計科	平成22年文部科学 大臣告示第152号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2640	1230	1410	0	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
120人	40人	3人	6人	9人			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う			
長期休み	■学年始:4月1日～4月11日 ■夏季:8月3日～9月13日 ■冬季:12月22日～1月11日 ■学年末:1月30日～3月31日		卒業・進級条件	履修すべき全授業科目に合格していること。出席日数が出席すべき日数の90%以上であること。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 補講の実施、休学、留年		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 自動車部品メーカー、産業機械メーカー ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報)		主な資格・検定等	3DCAD利用技術者2級 3DCAD利用技術者準1級 3DCAD利用技術者1級			
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成27年5月1日 在学者 36名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 33名 (平成28年3月 卒業者を含む)		■中退率 8.3%				
■中途退学の主な理由 進路変更のため		■中退防止のための取組 学生ガイダンス実施マニュアルに沿った細かな面談の実施					
ホームページ	http://www.asojuku.ac.jp/acet/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

3DCADを駆使した製品設計開発、各種工学知識、PLC(シーケンサ)、産業用ロボットなど企業に近い環境の中で実務スキルを身につけ、3DCADエンジニア、設計開発エンジニア、FA制御エンジニア、組込みエンジニアとして、いずれにも対応できる人材を育成することを基本に、適宜編成委員会を開催し授業内容等について確認を行うとともに、企業等より実習の授業及び教員に対し専攻分野における実務に関する研修を組織的に行う。また、インターンシップ時等に企業訪問を行い、企業からの要望を伺い教育に生かしていく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名前	所属
川口 巖	一般社団法人日本機械設計工業会 九州支部 顧問
下村 輝夫	福岡工業大学 学長
中村 仁	ダイハツ九州株式会社 品質課課長
東 明彦	株式会社 ダイコーテクノ 執行役員技術本部長
野見山 秀樹	専門学校 麻生工科自動車大学校 校長
安部 倫太郎	専門学校 麻生工科自動車大学校 校長代行
小串 浩之	専門学校 麻生工科自動車大学校 校長代行補佐
永江 貴史	専門学校 麻生工科自動車大学校 主任
坂口 利文	専門学校 麻生工科自動車大学校 教員

(開催日時)

平成27年度

第1回 平成27年6月25日 13:55～14:50

第2回 平成27年12月9日 13:00～14:50

平成28年度

第1回 平成28年6月23日 13:00～14:30

第2回 平成28年9月2日 13:00～14:50 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業は学生に対し、ものづくりの設計開発から製造までを実習させる事により、学生の学習効果を高め、かつ即戦力となる事を基本方針とした学内教育を実施する。実習においては、「デザイン作業」等のスキルを身につけ即戦力としての人材を育成する

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン実習	身近にある自動車を具体的にとり上げ、その仕様、形状設計、機能設計がどの様に行われているかの基礎を学び、次にそれをどのように改良改善するかについて演習する	ユウ・ワンデザイン

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

研修は、教職員に対して、現在就いている職または将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識または技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
江崎 雅弘	福岡トヨタ自動車株式会社 執行役員総務部長
坂口 哲也	福岡トヨタ自動車株式会社 サービス部長
下西 明	ダイハツ工業株式会社 理事
時松 真秀子	平成23年度卒業生
杉本 誠	平成22年度卒業生
林 紀子	保護者
村上 伸二	東比恵2丁目町内会
大和 豊	筑紫台高等学校 校長
下村 輝夫	ものづくり人材育成センター 顧問

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_acet.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: (麻生塾) <http://www.asojuku.ac.jp>

(専門学校麻生工科自動車大学校) <http://asojuku.ac.jp/acet/>

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車工学・機械設計科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			自動車工学Ⅰ	理工学社発行 自動車工学入門 自動車の基本機能「走る・曲がる・止まる」のしくみに関する知識、自動車の性能・強度の基礎知識	1通	60	4	○			○		○		
○			工業力学	東京電機大学出版局発行 材料力学考え方・解き方 弾性理論の基礎知識。 構造物の強度解析の基礎知識	1通	60	4	○			○			○	
○			生産技術	自動車は製品の構想・設計を経て、工場部門での製造という過程を経るなかで造られる。その中で、設計者として何が必要なのかを生産技術の立場から理解する。	1通	45	3	○			○			○	
○			機械要素	日本実業出版社発行 学生のための初めて学ぶ機械工学 エンジンのしくみと性能熱から仕事への変換・低公害で燃費の良いエンジン	1後	60	4	○			○				○
○			就職実務Ⅰ	職業理解と企業研究を重点に行う。 興味、価値観、性格、能力などの自己分析とキャリアプランニング	1通	30	2	○			○			○	
○			PC基礎	基本的な知識、表計算ソフト(Excel)、文書作成(Word)プレゼンテーションソフト(PowerPoint)の基本的な活用方法を習得する。	1通	60	4	○			○			○	
○			基礎数学	実教出版発行 これだけはおさえない理工系の基礎数学 数式から方程式の基礎を理解する。 比と割合、指数関数と対数関数、ベクトル	1通	60	4	○			○				○
○			基礎物理	河合出版発行 物理のエッセンス 力学・波動 力学や波動の基礎を理解する。 微積物理、次元解析	1通	60	4	○			○				○
○			英会話	Pearson Japan 出版「SIDE by THIRD EDITION」 コミュニケーションを図る上での基本的な表現方法を学ぶ。	1通	60	4	○			○			○	
○			G C B I	人間教育(感謝の心とおもいやりの教育) 感謝の心が人間力の根底にあることを知る。 人間力を高めるためのマナーの重要性に気づく。	1前	15	1	○			○			○	
○			PLM実習基礎	(株)ブレイン発行 CAE 解析初級編内容 各ワークベンチの基本的な操作方法 3次元CAD利用技術者2級の取得を目指す	1通	180	12	○			○			○	

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車工学・機械設計科) 平成28年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			図学	機械製図の基礎を理解する。 図形や寸法の表し方、寸法公差およびはめあい、材料記号等	1通	60	4	○			○			○		
○			加工実習Ⅰ	普通旋盤・フライス盤・ベンチドリル、各部の名称及び基本操作。各設備対応の切削工具と、その使い分け。基本課題切削、及び設備保全	1通	90	6	○			○				○	
○			デザイン実習	絵を描く事の基礎を学び、実際に自動車のコンセプトデザインを作成する。 スケッチ作成の基礎を学ぶ。	1通	60	4	○			○				○	○
○			自動車工学Ⅱ	理工図書発行 自動車力学 自動車の性能・強度に関する力学的理論 主要装置の仕様内容	2通	60	4	○			○				○	
○			熱・流体力学	機械設計技術者試験3級の取得を目的とした、熱・流体力学の基礎知識と試験対策を行う。	2通	120	8	○			○				○	
○			材料力学Ⅰ	東京電機大学出版局発行 材料力学 考え方・解き方 弾性理論の基礎知識 構造物の強度解析の基礎知識	2通	60	4	○			○				○	
○			就職実務Ⅱ	就職に対する心構えと準備を重点に行う。 自己分析、仕事研究などから自己PR、志望動機などの準備	2通	60	4	○			○			○		
○			英会話	Pearson Japan 出版「SIDE by THIRD EDITION」 コミュニケーションを図る上での応用的な表現方法を学ぶ。	2通	60	4	○			○			○		
○			PLM実習応用	(株)ブレイン発行 CAE 解析中級編 実務シミュレーション課題にて実践力の基礎スキルを習得。 3次元CAD利用技術者準1級の取得を目指す	2通	150	10	○			○			○		
○			加工実習Ⅱ	構造品の製作・構造設計（加工図作成）・ 加工工程検討（内・外作の仕分け、他）・ 内作品の加工・品質確認（内・外作品とも）・組立配線	2通	90	6	○			○				○	
○			メカトロ演習Ⅰ	シーケンサへの配線作業 及び 図面に関する基礎知識。 シーケンサプログラミング作成方法とプログラミングに関する基礎知識	2通	120	8	○			○			○		

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車工学・機械設計科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			車両開発・製作実習Ⅰ	車両の設計を行い、実際に加工、溶接を行い走る、止まる、曲がるの車両を製作する。 予算に合わせた構想を思考する。 また、ベースとなる部分の加工を行う。	2通	180	12	○			○	○			
○			自動車工学Ⅲ	自動車技術会発行 自動車工学—基礎— 自動車の開発の流れ—設計から評価まで— の業務内容・主要装置の設計方法の基礎知識	3通	60	4	○			○		○		
○			機械設計学	機械設計技術者試験3級の取得を目的とした、幅広い分野の基礎知識と試験対策を行う。	3通	60	4	○			○			○	
○			材料力学Ⅱ	朝倉書店発行 材料力学 機械工学基礎講座3 弾性理論による強度・剛性解析 構造力学による構造物の強度解析 材料強度の基礎知識	3通	60	4	○			○			○	
○			生産管理	理工学社発行 生産管理入門 工場の管理組織、生産の基本的な計画、 工程管理、作業研究、資材と運搬の管理 について学ぶ。	3通	60	4	○			○			○	
○			就職実務Ⅲ	就職に対する心構えと準備	3前	45	3	○			○		○		
○			英会話	Pearson Japan 出版「SIDE by THIRD EDITION」 コミュニケーションを図る上での実践的な表現方法を学ぶ。	3通	60	4	○			○		○		
○			G C B I I	人間教育（志の教育） 考えること、自分の言葉で伝える大切さを知る。行動する大切さに気づく。	3後	15	1	○			○		○		
○			PLM実習実践	(株)ブレイン発行 CAE 解析中級編 「壊れにくいモデル」「設変が適応しやすいモデル」を作成。 3次元CAD利用技術者1級の取得を目指す	3通	180	12	○			○		○		
○			メカトロ演習Ⅱ	産業用ロボットの操作方法 及び ロボット言語に関する基礎知識 シーケンサプログラミングに関する応用知識 動作確認 及び デバッグ方法	3通	120	8	○			○		○		

○		車両開発・製作実習Ⅱ	構造品の製作・構造設計（加工図作成）・加工工程検討（内・外作の仕分け、他）・内作品の加工・品質確認（内・外作品とも）・組立配線	3通	180	12		○	○	○	○	
合計			33 科目			2640	単位時間（176 単位）					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
履修すべき全授業科目に合格していること。出席日数が出席すべき日数の90%以上であること。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。